

夕刊 警城時報

日十二
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金拾圓
廣告料 一行二十字 五十日
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

平市制施行

けふ午後告示

青沼町長から報告

平市制施行については過般行される旨告示される事に
内務省加藤行政課長一行がなつた。
平、平窪兩町村を調査しそ
の結果縣參事會、平町、平
窪村に對し諮問を發し何れ
も異議なき旨の答申を得た
ので六月一日からの市制施
行確實と見られてゐたが十
九日上京した青沼町長から
の報告によつて今二十日付
男子部は上遠野村の模範苗
で六月一日から平市制が施
代の見學をなす。

農民講習生 現地視察

石城中堅農民講習生一同は
十九日好間村の二毛作共同
作業場、内の草農事實行組
を視察、更に來月五日同
の報告によつて今二十日付
男子部は上遠野村の模範苗
で六月一日から平市制が施
代の見學をなす。

地方長官會議で 佐藤村長氣焰

日本一の模範選舉 愈々實施可能

例の選舉組合による肅選運は部落別豫選會では村議候
動を提唱して議會の名物男
補者を選出、選舉費用も文
になつてゐた元代議士佐藤
村長は、その後神谷村長に
庄太郎氏は、その後神谷村長
に納まつて模範村の建設に
努めてゐるが、十八日地方
長官會議開催中の内務省に
ヒョッコリ現れて「こんど
は俺の村で日本一の模範選
舉をやつて見せるぞ」と北
見笑んでゐた、神谷村は現
在村議定員十二名が佐藤
村長の意圖する理想選舉で

つたが、今度は私の村で
いよいよこれを實踐し金
の要らない眞の理想選舉
として全國に範を示した
と思つてゐる。

通行人を殴る 不良二名檢舉

隣座敷に居た 飲酒客を殴る

内郷村宮鈴川英吉(二〇)同通
り合はせた荒川三夫(二二)
村字平太郎(二二)の六、山崎
榮次郎(二九)の兩
名は十三日夜十時頃同村名
を殴り荒川に二週間を要
した本場の奥山技師の病虫
害を斃りつて佐藤一に全
治平署に檢舉された。

米共同販賣

販賣の依米定期共同販賣は
三十一日行ふが出荷左の如
く九百十三俵で平一六六、
同二二二、高久一〇六、飯
野一〇、同五、同五、大
野一六、同二五、夏
野一六、同二五、夏
野一六、同二五、夏

炭殼拾の鐵索

神谷まで二キロ

平町神谷町炭殼炭礦火力發
作山一君の遺骨は二十日
電所は一日二萬キを發電
し一日三百噸の石炭を使ひ
ては二十三日午後一時同
二百五十噸宛石炭殼が出
て、二百五十噸宛石炭殼
が場につれてゐるが、平
町が施行されるので今回
谷村片寄地内へ搬出する事
になり鐵索道の架設を急い
でゐるが、鐵索道は夏井川
と鎌田山を越えて神谷村に
至る二キロのものである。

江名町葬

作山一等兵

滿洲軍公務中發病ヘルビ
ン陸軍病院で去る五月二日
死亡した、陸軍工兵一等兵
頭部其他に全治五ヶ月の重
傷を負ひ新川町北川醫院で
工管野力(四六)は十九日午
前十一時半頃電工三名共
に變電所構内地上約二十五
尺の高所で鐵橋の修理作業
中誤つて傍五千ボルトの高
壓線外覆に觸れて感電、後
赤井村草野千太郎(二女、エ
子)と來る二十三日午後四

新妻の行衛

候補顔ぶれ

縣下の大村内郷村の村議改
選も後二旬に迫つて各部落
共に候補者の選出に異常な
動きを見せつゝあり、取締
當局並びに村當局は選舉界
の淨化に部落常會、豫選會
等に積極的な違反防止の指
示に當つて居るが、各部落
の豫選會も今日中には終
了、届出は二十三日の大安
日が最初で愈々政戦の火蓋
は切られるが、各政黨的部
落推薦候補で立候補確實と
見られて居るものは

電工高壓線に觸る

全治五ヶ月の重傷

工管野力(四六)は十九日午
前十一時半頃電工三名共
に變電所構内地上約二十五
尺の高所で鐵橋の修理作業
中誤つて傍五千ボルトの高
壓線外覆に觸れて感電、後
赤井村草野千太郎(二女、エ
子)と來る二十三日午後四

沼田家慶事

各部落豫選會の現勢

△下級(現)山崎佐市郎の
引退説で去る豫選會の結
果山崎榮太郎が最高で推
薦候補に推されたので同
氏の立候補も確定的と見
らる
△御蔭一去る豫選會で大多
數を以て野木力を推薦現
生田目常弘の起否は目下
不明であるが一部の推薦
を得て再起するものと見
らる
△小島一滿場一致の推薦候
補佐藤三平の固辭により
今二十日午後から再豫選
會を行ふが薄源次郎現區
長、山下喜代治、四倉清
一の内二氏の立候補と見
らる
△白水一今二十日部落豫選
會を行つて確定する筈で
あるが二名説か三名説か
によつて人選も決定の模
様
△御蔭境一去る十六日の常
會に於て鈴木佐市の起否
により確定を見るべきの
處同氏より回答を二十日
まで延期熟考の上再豫選
會を行つて確定
△上級一新人候補の進出と
推薦の事情問題から豫選
會を行はざるも立候補確
實と見られるもの部落其
他有志の推薦で現助役金
澤爲喜、同じく現區長金
澤慶一、金坂一助の推薦
を得て佐藤久太郎、廣瀬
貞、組内の推薦を得て山
崎一は確定的なもので
ある
△宮一金坂部落の推薦候補
として小松定次郎、竹の
内龍の推薦候補として島
田兼吉の立候補も確定的
宮有志の推薦で草野金四
郎、坑夫労働者の推薦で
増子榮の立候補も確定的
なものも見らる
△内町一十九日の部落常會
に於て候補者の選定を委
員の委任説と豫選會の對
して手當中が全治五ヶ月の

伯父の指を齒む

下小川柴原農鈴木作左工門
(四〇)は十八日夜泥酔して
日頃折令の悪かつた伯父同
村鈴木龜之助(七二)方に怒
鳴り込み口論の末龜之助の
右手中指と薬指を噛み切つ
た、被害者は平町木村病院
に於て手當中が全治五ヶ月の
重傷である。

新米で自殺

内郷

村小島農吉田喜一(三〇)は
十九日午前二時頃小名濱町
新米旅館に投宿中カサネ
澤慶一を飲み自殺を企て生命危
篤である、原因は神經衰弱
を苦にした結果である。

太田氏送別會

在郷軍人分會元海軍班長太
田良一氏は此程退職したの
で分會では昨夜氏の送別會
を開き記念に添え感謝狀を
贈つた。

氷は魚清!!!

電話四六七番へ

平二丁目警察署通り
 本店 魚清氷卸部
 主 鈴木庫左右
 支店 江名町築港内
 江名町販賣所
 (配達人数名至急人用) 電話六九番

大ドライヤーを
 備えつけました。

「皆々様の化粧院」として
 常に御負担に預ります平糶前水野化粧院は昨年オ
 ソン器を備えつけまして御満足を受けましたが、
 更にこの度

「パーマメントセット」

「洗髪」「染色」
 用として「ドライヤー」を設備致しました。
 ドライヤーを御使用になればパーマメントセツト
 も洗髪も十分間以内になどごんな白赤毛でも
 五分ごか、らないうちに物見事に仕
 上ります。スピードを御好みの今日、どうぞ御利
 用下さいませ。
 尚ほ春のフェッショナルマツチャーチ美容術にはオ
 ソン利用が第一で御座いますから、海に、山に、
 或ひは遠く御旅行なさる時、或ひは御歸りの際、
 是非御顔の御手當に「水野」へ御立寄り下さる事
 を御待ち申しております。

水野化粧院

平 驛 前
 主 水野冬子
 営業所 六七八番
 自宅 五二五番

吸入用酸素 純度99%

モノサシ
 ハカリ
 マス
 体温器
 寒暖計

秤ノ取緒・鍾糸・修覆致シマス

関内薬局

回寫真機 材料一式 電話四〇番

内臓外科 泌尿器科
 レントゲン科

北川外科

平町新川町二七 (諸橋醫院跡)
 醫學博士 北川芳夫
 技師 小林良次
 電話四六四番

腸胃科 性病科

花柳病科
 性病科
 泌尿器科
 皮膚科
 肛門病科

門 專
 院 醫 科
 性病科 腸胃科
 (番七〇一電) 町南町平

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎
 電話九九番

國華ポマード 颯爽たり

皆様の美容室「理髮東京」は「オールサー
 ビス」の満全を期し國華ポマードを初級全
 部高級化粧品を使用し行届いた技術と共に
 奉仕致して居ります。

帝都美容師會々員 理髮東京
 東京國華會 会長

開 院

皮膚科 泌尿器科
 花柳病科 門 專

診 療 午前八時ヨリ
 午後九時マデ

江尻醫院

平町田町(山内醫院跡)
 醫學博士 江尻伊三郎
 電話六九一
 入院隨意

新設御知らせ

電話五五五番

右電話は今般白銀町加藤營業所殿より譲受け
 本日より開通致し候間何卒御利用の程願上候

平町才地小路一
 助機關 石城商工互融會

丹後澤は招く!!

磐城史上にその名を誇る丹後澤の水は
 満々とたへ鏡の如き水面には新装こ
 らしたボートが吾等を招き、幾百年
 の謎を秘めた水中には無数の鯉魚が太
 公坊を呼んで居ります。
 將にこれ! 平町のパラダイス
 一日の清遊は
 是非丹後澤へ!!

丹後澤遊覽會

「花友」八田與市
 平町白銀町 電話六九五番

耳鼻咽喉科

大和田醫院
 平町南町(電話一七〇番)

入院自炊の便あり

二百年の歴史を有する

家傳靈藥 消食散

馬相 一名かけの藥
 代理店 丸龜商店
 電話一三三番